

ひよこ

園生活にも慣れ、いないいないばあや触れ合い遊びをすると、可愛い笑顔をたくさん見せてくれるようになります。安心して玩具を握り遊んだり、ハイハイや伝い歩きをしたりとのびのび過ごして日々成長する姿を嬉しく思っています。

保育者と関わりながら過ごす中で、声掛けに喜び喃語で反応してくれたり、仕草を真似したりする姿も見られるようになってきました。

子ども達は表情や仕草、喃語で、気持ちややって欲しいこと等を伝えてくれているので、保育者がその思いや子ども達の見ている物を言葉に換え、『〇〇だね』と共感する等、温かく語りかけながら関わる事を心掛けています。

ご家庭でも、たくさん話しかけ、お子様との今ならではのやりとりを楽しんで下さいね。

こどり

一人ひとりの成長を喜び感じる中、喃語・単語等、発語が見られるお子様も出てきました。

私達保育者は、活動・行動1つ1つに『〇〇だから、〇〇しよう』『〇〇だから、やってみよう』『〇〇だから、やってはいけない』等、話しかけています。

『ダメ』『～しなさい』の単語だけでは、子ども達はその内容を理解する事は出来ません。

まだまだ言葉が出ない時期ですが、耳は聞こえています。図書館で絵本を借りて、言葉のリズムのおもしろさを経験するのも、話せるようになる助けになります。

子ども達に分かる簡単な言葉を沢山かけ、お子様が安心して出来るよう関わって下さい。

御協力の程、宜しくお願いします。

つくし

「～したい!」とやりたいことや自分の気持ちを少しずつ伝えられるようになり、保育者や友達との関わりも見られるようになってきました。保育者の言葉を真似したり、絵本の言葉をくり返して言うことを楽しんだり、時にはお友達の言葉を真似して笑い合ったり、言葉もまねっすることから覚え、自分の言葉として使えるようになってします。

又、ごっこ遊びも大好きで、おままごとや電車ごっこをする、〇〇に見立てたり、〇〇のつもりでやりとりしようとする可愛らしい姿も見られます。

これからも、子ども達とたくさんの言葉に触れ、伝えようとする思いに共感し優しく応え、必要な言葉を分かりやすく丁寧に伝えていきたいと思えます。

大人を見ながら育っていく子ども達、ご家庭でも正しい言葉の使い方を心掛けていただくようお願い致します。

あやめ

友達や保育者と遊ぶ中で、言葉のやり取りをし、伝える事の嬉しさを感じ、楽しく過ごしています。日々新しい言葉を吸収している子ども達ですが、まだ自分の気持ちを言葉に表せず、上手く伝えられない姿も多いです。特に、思いのすれ違いや、玩具の貸し借り、順番等で、トラブルになってしまう『自分が!』という思いが先行し、他の事が見えなくなってしまうがちです。

『貸して』『順番だよ』等、言えるようになっていますが、伝えるだけで、玩具を取ろうとしたり、待たずに抜かしてしまい、間違いを指摘されると、泣いたり怒る姿も見られます。

クラスでは、落ち着いてから話を聞き、思いを受け止め、『何がいけなかったのか』『どうしたらいいのか』等、子ども達と一緒に考え、自分で考える力が育つような声掛けや、必要に応じて言葉を知らせています。

またその中で、生活や遊びの中には、約束がある事や相手にも思いがある事に触れ、子ども自身で気付けるようにもしています。考える力は、どのような場面でも大切です、生きる力に繋がります。まだまだ小さいから…ではなく、日々の少しずつの積み重ねで、考える力、生きる力を育て成長に繋げていきたいですね。

すみれ

新しいクラスでの生活にも慣れ、友達がやっている楽しそうな事を一緒にやってみたり、「〇〇ちゃん、遊ぼう!」と誘ったり、友達と遊ぶ事を楽しんでいます。その反面、自分の思いが先行して、友達と思いの食い違いなどトラブルになる事もあります。

そんな時には、どうしたら仲良く遊べるか、一緒に考えるようにしています。友達と一緒に生活したり、遊ぶ事が楽し過ぎてルールが守れなかったり、怪我に繋がってしまいそうな時があります。一人ひとりと話をする中で、自分の思いがいっぱいとなり「イヤだ!」としか話せない姿が多く見られます。ご家庭でも「イヤだ!」としか話が出来ず、困っている事はありますか?園では、「イヤだ!」という気持ちを受け止め、「こういう事が嫌なんだ」等気づき、意思表示できるような言葉掛けをしてあげる事で気持ちが落ち着き、自分で何がいけなかったのかを考える事ができます。ご家庭でも話を聞き寄り添った言葉を掛けてあげたり、何を注意されているのかをその都度丁寧に伝える事等を繰り返していき、子ども達の心に届くようにしていきましょう。

さくら

新しい環境にも慣れ、友だちとルールのある遊びや集団で遊ぶ楽しさを味わい、年長児ならではの活動も経験し関わりも深まっていくように感じます。

ひらかなや数字にも興味を持ち、少しずつワークを使って読んだり書いたりする事を楽しんだり、言葉遊びとしてカルタや室内にある文字を探すなど、言葉を身近に感じ親しめるようにしています。

また、話が上手になってきた反面、強い口調になったり言葉遣いが乱暴になる事も増えてきました。

子どもは大人や友だち・テレビ等から、新しい言葉を聞きどんどん吸収していきます。良いことも悪いことも吸収してしまう大切な時期だからこそ、安心できる大人や相手がどう思うか、どう伝えたら良いか、導いてあげて下さい。

出来た事は一緒に褒め、認めてもらう事で、少しずつ子どもたちの力になっていきます。

これからも子どもたち一人ひとりの気持ちを聞きながら、一緒に成長していきたいと思えます。